

## 社団法人 日本玩具協会の「製品安全自主行動計画」

私たちが携わっている玩具は、子供たちがユーザーであり、子供たちの安全・安心は親御さんの最大の関心事であります。

こうした自覚に立って、私たち玩具産業人は、玩具安全を第一の価値として掲げ、玩具安全対策を推進してきました。

特に、日本玩具協会による「玩具安全（S T）基準」の設定・「玩具安全マーク制度」の実施を通じて、安全な玩具を消費者にお届けするよう努力してまいりました。

しかし、最近、他の製品で相次いだ製品事故を契機として、製品安全に対する世の中の関心が著しく高まっていることを踏まえ、私どもも「消費者重視」の視点を一層明確に表明し、安全の確保の重要性を再確認するとともに、下記の活動を継続することにより、積極的に玩具の安全確保に貢献してまいります。

1. 国の「製品安全自主行動計画策定のためのガイドライン」に基づき、当協会会員による自社「製品安全自主行動計画」策定を支援します。  
特に、会員の多くが中小企業に属することにかんがみ、中小玩具企業向けの「製品安全自主行動計画策定のためのガイドライン」（別添）を策定し、その普及を業界全体の取組みとして推進いたします。
2. 製品に関する技術や内外の玩具安全に関する規制・基準の動向を的確に把握し、「玩具安全（S T）基準」の内容が常に適切なものとなるよう努めるとともに、「玩具安全マーク」制度の適切な実施と社会への普及を推進してまいります。
3. 国との密接な連携を保ちつつ、重大製品事故報告制度の適正な運用を期してまいります。
4. 消費者に対し、玩具安全の知識の啓発を行い、製品安全文化の定着に貢献するよう努めます。

玩具業界、企業において、製品安全文化の一層の涵養とその定着を図る決意を表明して消費者並びに会員各位へのメッセージといたします。